

## 2. 進路指導係

### (1) 進路指導の基本方針

高校入学当初から、生徒ひとりひとりが自分の将来を見すえ、進路を意識した学校生活を心がけるよう指導する。本校の特色を生かして、多様な進路に対応できるようにする。生徒個々の志望を早い段階から掌握し、実力を養成する。保護者や各学年・各係とも連携しながら、きめの細かい指導を行なうことにより生徒たちの希望進路実現に努める。

1. 指導にあたっては、生徒の自己についての理解と、職業・学校についての理解を2本の柱として、保護者の意見や家庭状況を考慮しつつ、生徒が主体的に自己の進路を選択できるように指導する
2. 日常の授業を学力充実の基本とする立場で、学習意欲を高め学習効果を増進させるべく毎日の授業に取り組む。同時に集中講座や補習なども効果的に活用し、学習集団作りを進め、進学意欲を喚起し実力養成をはかる。
3. 学習指導係と連携をとり、高大接続改革に伴う「活動報告書」「大学入学希望理由書」「学修計画書」の作成を視野に入れながら、「総合的な探究の時間」を活用した進路指導を進める。
4. 生徒の進路希望の多様化が進む中、個々の適性(興味・関心)や適確性(能力・家庭状況)を十分に把握し、それに適する選択ができるように、クラス担任・進路係・職員が連絡を取り合い、協力して指導にあたる。特に、早い段階での動機づけ、意識づけを常に心がけるとともに、進学後を見通した最終的な職業選択に向けた職業観の形成をめざして指導にあたる。

### (2) 各学年の指導目標

1年 高校生としての基本的な学習習慣を定着させ、諸検査等も活用しながら自分の長所・短所、適性などについて考えさせる。総合的な探究の時間を使い、職業や学校等についての知識と理解を深め、自分の進むべき方向に見通しがもてるようにする。

→ 自己理解・職業理解・学校理解

2年 1年次からの学習習慣や自己理解、職業理解を一層進めるとともに、情報収集を促し、自分の希望を達成するためにはどうすればよいのか、自分はどのようにあらねばならないかを考えるよう指導する。同時に希望をより具体的に絞らせながら、進路実現のための継続的な実力養成ができるようにする。

→ 入試理解・入社選考方法の理解

3年 学習活動だけでなく、マナーを含め基本的な生活態度を養い、将来にむけた準備に導く。生徒本人、家庭、学校との意思疎通を深めながら、希望・適性を考えて、納得のいく進路の最終決定ができるようにする。また、進路決定後の生活を卒業後につながるよう指導する。

→ 希望進路実現

### (3) 今年度の重点的取り組みの設定

#### 重点的取り組み

- ① 進路意識の涵養
- ② 「基礎力診断テスト」の有効な活用
- ③ 進路実現に向けた、入試・就職試験への対応

#### 重点的取り組みに基づいた方策

- ・保護者懇談会、PTA 総会、進路だより等の活用による保護者との連携強化 ①
- ・担任面談、各種調査等を利用した生徒一人一人の進路希望の正確な把握 ①
- ・家庭学習習慣の確立 ②
- ・基礎学力の確実な定着 ②③
- ・「進路指導の基本方針」「各学年の指導目標」に準拠した年間計画の検討 ①③
- ・「探究」を中心とした3学年における進路指導の検証 ③
- ・希望者補習（木7・長期休業中・総合等）の効果的活用法の検討 ①③
- ・一般選抜 受験者に対する特別授業の編成 ③
- ・小論文、面接対策の検討及び実施 ①③
- ・講演会、ガイダンスの積極的利用と事後指導 ①③
- ・基礎力診断テストの成果及び課題の分析 ②
- ・基礎力診断テストの事前指導・事後指導 ①②③
- ・進学者向けの模試の成果及び課題の分析 ①③
- ・「活動報告書」「大学入学希望理由書」「学修計画書」の指導 ③